

# 中間株主通信

株主のみなさまへ

2024年4月1日～  
2024年9月30日



## MESSAGE ごあいさつ

新たな価値創造に向けた  
変革基盤の構築に注力してまいります。



平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

上期は、コロナ5類移行から1年が経過し、かつての日常を取り戻しつつあり、外出行動の活発化や訪日外国人客数の増加など、需要拡大が見受けられました。一方で、物価上昇による節約志向や物流費高騰などにより、流通を担う当社にとりましては、依然として厳しい環境は続いています。販売面においては、継続するコロナ関連商材の需要減少や、サプリメントを中心とした一部商材の買い控えなどがありました。このようななか、外出増加やインバウンドの需要拡大などの、市場環境の変化を的確に捉えた販売活動に努めた結果、売上高は前期を上回りました。利益面においても、配送費や人件費の上昇などにより販売管理費が増加したものの、売上の増加や配送関連を中心に改善取り組みを進めた結果、増益を確保することができました。

今後におきましても、急速に変化する時代に対応できる強固な事業基盤の構築に向けて、全社一丸となって取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

吉田 拓也

# PERFORMANCE 2025年3月期 中間期の実績

## 売上高

6,004億円

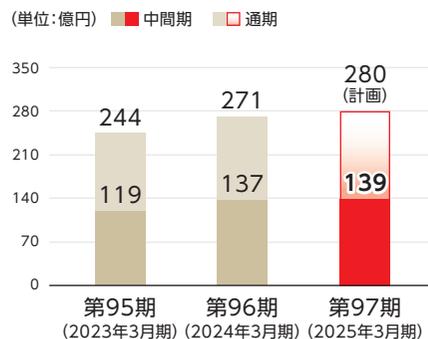
前年同期比: +2.9%



## 営業利益

139億円

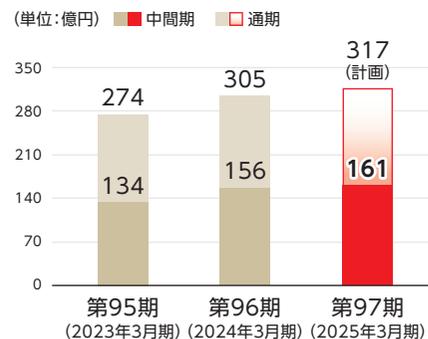
前年同期比: +1.5%



## 経常利益

161億円

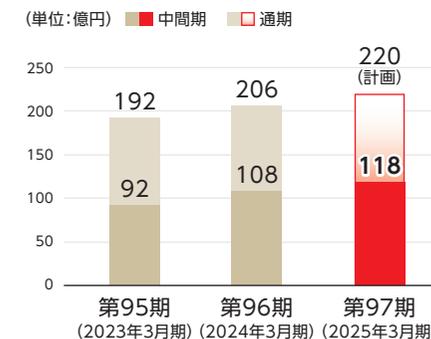
前年同期比: +3.6%



## 中間(当期)純利益

118億円

前年同期比: +9.2%



▶ 売上高は、市場の変化を的確に捉えた販売活動を進めた結果、増収となりました。

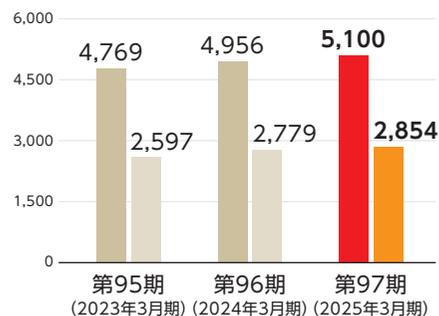
▶ 利益面は、売上拡大を軸とする利益確保や改善活動の継続により、増益となりました。

▶ 通期計画は、2024年5月13日に公表した業績予測から変更はありません。引き続き、計画達成に向けた取り組みを進めていきます。

# HIGHLIGHTS 財務ハイライト

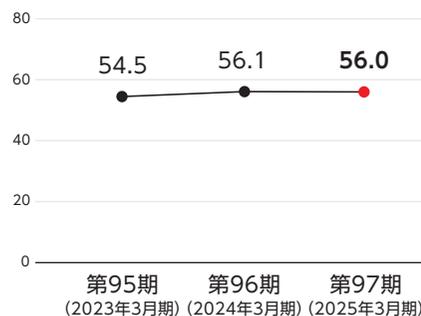
## 総資産／純資産

(単位:億円) 総資産 ■ 中間期末 ■ 期末  
純資産 ■ 中間期末 ■ 期末



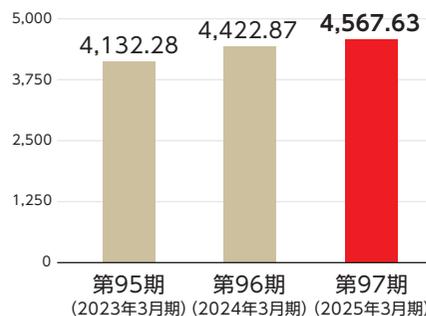
## 自己資本比率

(単位:%) ● 中間期末 ● 期末



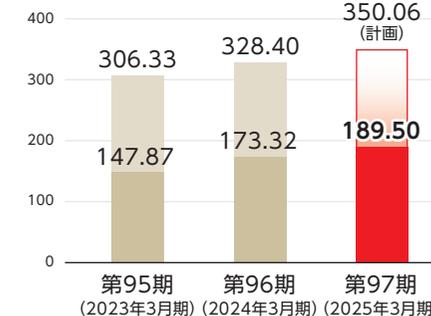
## 1株当たり純資産額

(単位:円) ■ 中間期末 ■ 期末



## 1株当たり中間(当期)純利益

(単位:円) ■ 中間期 □ 通期



持続可能な社会の実現に向け  
社会・環境価値向上に向けた取り組みを進めていきます。



当社の取り組みに関連する主な目標



## TOPICS 2025年3月期 中間期トピックス

### TOPIC 1 新たに始動した 中期経営計画の全社説明会を開催

新たに策定した長期ビジョン・中期経営計画の達成に向け、社内説明会を開催しました。様々な分野でルールや在り方が変わる「変革の時代」が訪れる中で、持続的な成長を果たすためには、新たな成長源を生み出す変革が必要です。そのためには従業員一人ひとりが会社に誇りを持ち、自律し、自発的に活躍する組織・風土づくりが不可欠です。

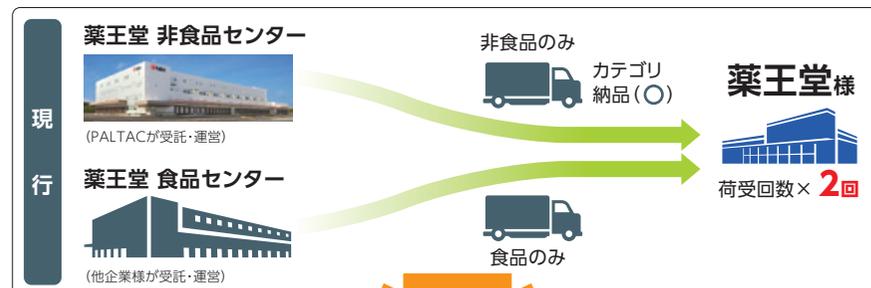
説明会では、社長の吉田が、会社の目指す姿や存在意義、込められた想い、重要課題（マテリアリティ）などを、自らの言葉で発信しました。実施後のアンケートでは「熱意が伝わった」という声とともに、変革に向けた意見・要望も上がっています。今後も、従業員との対話を重視しながらエンゲージメントを高めることで持続的な成長を果たしていきます。



社長の吉田が「なぜ当社が存在し、どのように社会の役に立っているのか、何を目的に私たちは働き、何に向かえばいいのかを考えるきっかけにして欲しい」と語りかける。

### TOPIC 2 非食品・食品の一括物流を 計画通りに開始

株式会社薬王堂様と協働し、従来別々に行っていた非食品（化粧品・日用品、一般用医薬品）と食品との物流を一括で取り扱う業務を本年9月より開始しました。当社売上の約6割を占めるドラッグストアでは、生活者のニーズの高まりから食品の取り扱いが増加しており、また、人手不足などによる物流効率化の社会的ニーズも高まっています。当社の強みである物流ノウハウ（配送効率化やカテゴリ納品など）を、新たに食品分野に展開することで、店舗における陳列作業の効率化と同時に、ドライバー不足やCO<sub>2</sub>排出量の削減などの社会的課題の解決にも貢献します。本取り組みを通じて、食品物流の特性や効率的な運営ノウハウの知見を獲得し、物流の価値提供領域の拡大を目指していきます。



持続可能な社会の実現に向け  
社会・環境価値向上に向けた取り組みを進めていきます。



当社の取り組みに関連する主な目標

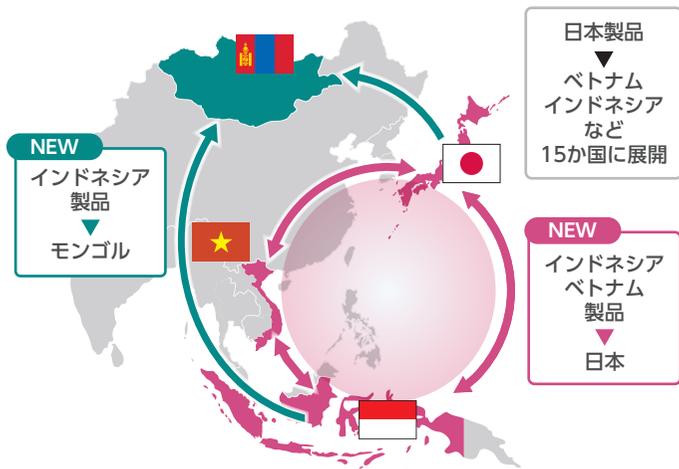


## TOPICS 2025年3月期 中間トピックス

### 海外現地ブランドの グローバル展開を開始

TOPIC 3

海外事業における新たな価値創造を目指し、前中期経営計画期間（2022年～2024年）において設立したベトナム・インドネシアの現地法人において、国内メーカー様の海外進出のサポートや現地ニーズに適した品質の高い日本製品の提案を通じて、ビジネスノウハウを蓄積しています。これら現地法人で得られた情報や繋がりを活かし、海外現地ブランドのグローバル展開を新たに開始しました。今後においては、日本製品の流通だけではなく、当社の拠点（日本・ベトナム・インドネシア）それぞれがハブとなり、各国の魅力的な商品や有益な情報がグローバルに繋がるネットワークの構築に挑戦し、さらなる事業拡大を目指していきます。



### ESG指数の構成銘柄に選定 「AA」評価の獲得

当社は、世界最大規模の年金運用機関であるGPIF\*がESG投資のために採用している「MSCI 日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄に選定されました。また、MSCI ESG格付けにおいて、「カーボンフットプリント」や「労働管理」などの取り組みが高い評価を得て「AA」評価を獲得いたしました。今後においても、長期ビジョン及び中期経営計画に沿った取り組みを進め、サステナブルな環境・社会の実現と当社の持続的成長を目指していきます。

※年金積立金管理運用独立行政法人



### 統合報告書2024を発行

本年5月に、長期ビジョン及び、これに基づく3か年の中期経営計画を策定したことに伴い、統合報告書の内容を大幅に刷新しました。本報告書を通じて当社の考えや取り組みをより深くお伝えしたいと考え、新たに策定した長期ビジョン及び中期経営計画を軸に、当社の強みとそれを活かした価値創造ストーリーを掲載しています。また、ニーズが高まっている人的資本をはじめとした非財務指標の記載も拡充しています。



<https://www.paltac.co.jp/tomorrow/report.html>



# INFORMATION 株式・株主情報

## 株主還元について

- ◆ 継続した増配の実施  
→利益成長を上回る増配
- ◆ 配当性向35%以上を目指す
- ◆ 自己株式取得による株主還元の充実

当期の配当金は当初の予想どおり、1株当たり中間配当金を前期に比べ5円増配し50円といたします。また、期末配当金を6円増配し55円といたします。これにより、1株当たり年間配当金は11円増配の105円となる見込みです。

配当実績/配当予想  
(単位:円) ■ 中間 ■ 期末

15期連続して増配を実施 ※予想含む

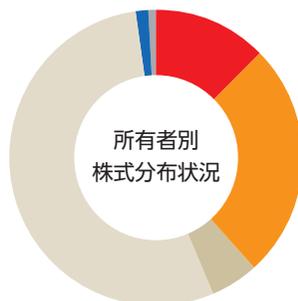


※連続増配は株式分割に伴う実質増配を含んでおります。

## 株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数 ※自己株式含む	63,000,000株
株主数	3,385名

※自己株式500,611株



所有者別	株数	割合
金融機関	7,859千株	12.5%
外国株主	16,459千株	26.1%
個人株主	3,291千株	5.2%
その他法人	34,144千株	54.2%
証券会社	744千株	1.2%
自己株式	500千株	0.8%

## ESG自己株式を取得

当社は、中期経営計画で掲げている「資本効率を意識した経営の実践」「サステナビリティの向上」の重点戦略に沿った取り組みとして、国内では2例目となるESG自己株式取得を決定し、現在実施しています。自己株式の取得により株主の皆様への還元を充実させることに加え、自己株式取得の成果に応じ、ESGへの取り組みに資金を拠出する仕組みとなっています。今後も、株主様への還元を充実させると同時にサステナブルな環境・社会の実現を目指していきます。

取得期間	2024年7月30日～2025年3月31日
取得株式総数	1,500,000株(上限)
取得株式総額	50億円(上限)
取得の方法	東京証券取引所における市場買付

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領 株主確定日	3月31日、9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel. 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場(証券コード8283)
単元株式数	100株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします (公告掲載URL) <a href="https://www.paltac.co.jp/">https://www.paltac.co.jp/</a> 但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載する

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金に関するお手続き、その他株式事務に関する一般的なご照会につきましては、株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。

## ホームページのご案内

詳しい会社情報や  
財務関連情報をご  
覧いただけます。

PALTAC IR   
<https://www.paltac.co.jp/>

スマートフォン  
にも対応!

お届けするのはモノ以上の価値

 株式会社 PALTAC

### 見直しに関する注意事項

この中間株主通信に記載されている当社の計画、見直し、戦略などは、日本経済の動向、業界の動向、市場の競争状況などの影響を受けます。そのため、実際の業績はこれら見直しと異なる可能性がありますことをご通知おさください。

UD  
FONT